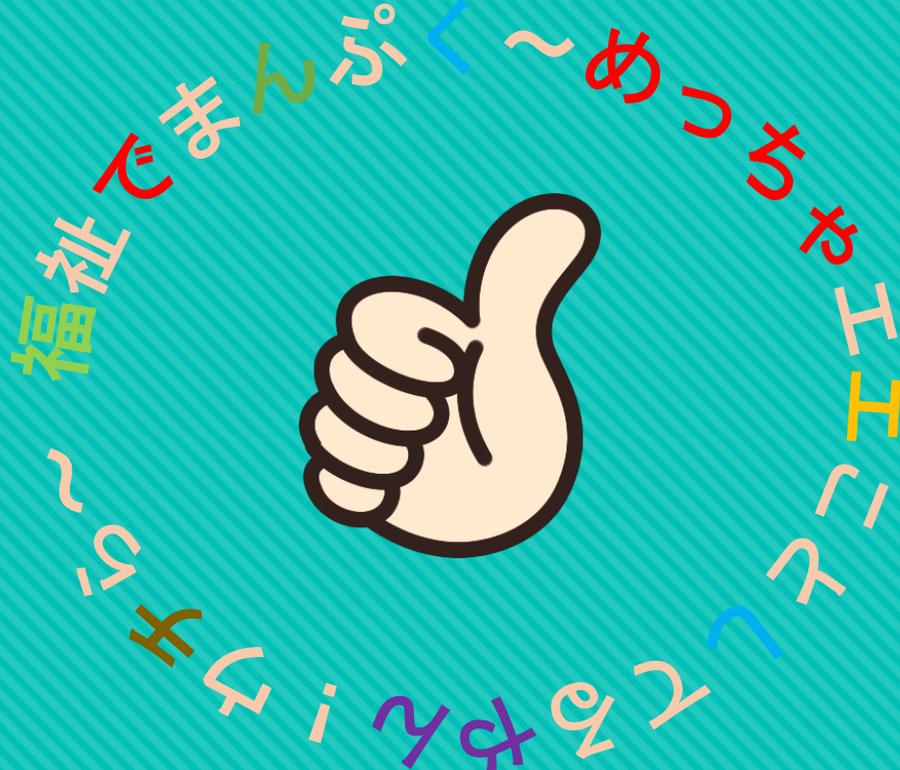


まんぷくニュース1号



21・老福連 職員研修交流集会in大阪 メインテーマ決定！！

福祉でまんぷく～めっちゃええことしてるやん！ウチら～

●テーマへの思い

2000年に介護保険制度が施行され4半世紀になろうとしています。介護保険は高齢者の生活にかかる支援を完全出来高払いの報酬化、または加算として切り分ける手法がとられ、不安定な経営となりました。

この間、生産性の向上が課題とされ、それによる職員配置基準の規制緩和が一部実施されるに至りました。

「介護」は高齢者の生活支援の一部であり、総体ではありません。たとえ認知症になっても人としての尊厳が守られ、その人らしい暮らしを支援すること、「社会福祉」が私たちの本来の仕事です。この研究交流集会にみなさんのそうした実践やとりくみを持ち寄り、交流できたらと思います。食い倒れの街大阪で、心もまんぷくになりますように。

21・福連連 大阪集会

まんぷく
ニュース

みんな
おまたせ～

2024年度大阪大会は 対面開催
で実施します！！

- 12月7日（土）全体会 & 交流会
13時～20時30分

場所 ホテルマイステイズ新大阪
コンファレンスセンター

- 12月8日（日）分科会
10時～15時30分

場所 大和大学（吹田駅 徒歩9分）

まんぷくニュース

21・老福連って？

職員研修交流集会って何すんの？

2日間で何すんの？



○ 「21・老福連って？」

正式名称「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」は、実践交流と連携をめざした老人福祉の連絡組織として2001年に発足しました。

①高齢者を介護保険の混乱と矛盾から守る立場で公的福祉の確立をめざすとともに、真の老人福祉・介護保障のあり方について意見交換を行う。

②高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするための「職員研究交流集会」を開催する。

③老人福祉向上をめざす諸活動と諸団体との連携をすすめる。これら3つを目標に掲げ活動しています。

○ 「職員研究交流集会って？」

21・老福連が主催する「職員研究交流集会」は、「豊かな援助実践と公的福祉制度の確立」をめざし、全国の介護現場で高齢者に向き合い、尊厳ある人生への支援を多様に行い、優れた援助実践を持ち寄り、交流し、全国に発信する広場となっています。その中でも分科会は参加者が仕事への誇りを持ち、勇気と元気を得ることを目的にしています。単なる事例発表ではなく、一日をかけて参加者全員がテーマに沿って本音で語り合い、今後の豊かな援助実践につなげる内容となっています。

○ 「2日間で何すんの？」

1日目は基調報告と記念講演、そして夜には交流会を予定しています。これぞ対面開催の醍醐味！ぜひ皆さんご参加いただき、大阪ならではの企画と全国の仲間との交流を満喫してください。

2日目はテーマごとに分かれての分科会です。職員研究交流集会の中心的な取り組みです。各施設からの実践報告をもとに本音で語り合い、明日への活力で

「まんぷく」になってください。

●交流会

「お久しぶり！」の方も、「はじめまして！」の方も楽しんでいただける交流企画を検討します！



実行委員会 お知らせ

●分科会

2019年の金沢集会以来となる対面による分科会になります。

顔をあわせて感想や意見の交流を図る大きな機会です。

楽しみで仕方ありません！ ぜひともたくさんの人にご参加いただきたいです

●全体会

皆さんが有意義に過ごせる企画を準備中です。

